

# 言語学問題

(令和 4 年度 国際信州学院大学国際コミュニケーション学部)

## 【注意事項】

1. 試験時間は 120 分である。
2. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開いてはいけない。ただし、表紙はあらかじめよく読んでおくこと。
3. 問題冊子に落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所等があった場合および解答用紙が不足している場合は、手をあげて監督者に申し出ること。
4. 試験開始後、解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入すること。
5. 回答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。解答用紙の裏面に記入してはいけない。
6. 解答用紙を切り離したり、持ち帰ってはいけない。
7. 問題冊子の中の白紙部分は下書き等に使用してよい。
8. 試験終了時刻まで退室を認めない。試験中の気分不快やトイレ等、やむを得ない場合には、手をあげて監督者を呼び指示に従うこと。
9. 試験終了後は問題冊子を持ち帰ること。





1

以下の文章の全文を指定された言語に訳しなさい。

(1) <フランス語>

見物のやじり方には、古今東西を通じていろいろあるやうだが、昔、仏蘭西では、舞台の俳優めがけて、腐つた卵や、焼き林檎を投げつけるといふ野蛮な風習があつた。この風習は、後にやや緩和されて、口笛<sup>シツフレ</sup>となり、それでも、このシツフレはなかなか盛んで、「大根ひっこめ」ぐらゐの愛嬌では納まらない場合がある。そこへ行くと、日本の見物は実に寛大で、役者は誠に気楽だが、そのために舞台がだらけきつてゐる。乱暴を奨励するわけではないが、日本にも役者がヘマをやつたら、梅干か蒟蒻ぐらゐぶつける習慣があつたら面白いだらう。

(出典：岸田國士『時・処・人』)

(2) <ドイツ語>

早くから商業が発達し、学問が進み、人間の独立と自由とを愛する気風が培われていたライン州では、一七八九年にフランスの大革命が起つた時、ジャコバン党の支部が出来、ドイツ人でフランス革命のために努力した人々が沢山あつた。

(出典：宮本百合子『カール・マルクスとその夫人』)

(3) <日本語>

Des noms similaires peuvent prêter à confusion dans de nombreuses situations. Par exemple, notre école est située à Aunno, mais de nombreuses personnes la confondent avec Azumino et n'atteignent jamais le campus. C'est un exemple de la confusion causée par la similitude de la notation, mais c'est peut-être aussi la raison pour laquelle certaines personnes affirment que l'université est fictive.

2 タヨ語 (Tayo) は、ニューカレドニアで話されているフランス語ベースのクレオール言語である。以下にタヨ語の文とそのフランス語訳をいくつか示す。これらから推測されるタヨ語動詞の形態論的特徴を、フランス語のそれと比較して論じなさい。

この問題は、著作権の都合により掲載ができません。

3 あなたが現在関心を持っている言語学上の話題についてエッセイで書きなさい。特に、それに関心を持つに至った経緯もあわせて書くこと。





